

科目区分：外国語科目（中国語）

授業科目名	中国語Ⅳ					学期	曜日	校時
英語名	ChineseⅣ							
担当教官名	葛城明子	単位数	1単位	必修選択	必修	後期 後期 後期	木曜日 金曜日 金曜日	Ⅱ校時 Ⅱ校時 Ⅲ校時
授業のねらい・内容・方法								
私たちが一般に「中国語」と呼んでいるのは、中国で全国的に通用する共通語のことである。中国は国土が広く、日本の約26倍もあり、方言が数多くある（一般に七大方言という）。例えば北と南では発音が大きく異なり、北の人と南の人がそれぞれ方言で話したら、全く通じ合わないことになる。そこで全国共通の言語が必要なのである。共通語は北方方言を基盤とし、北京の発音を標準音としている。 中国語Ⅳではこれまで学んだ発音や文法を基礎に、基本文型の例文に多くふれることで初級中国語の習得をめざす。履修生は授業時だけでなく、各自付録のCDを使って繰り返し読む練習をしてほしい。								
テキスト、教材等								
テキスト：若林建志・有澤晶子・王亜新著『中国語基礎文法15課』（白帝社） 辞書：武信彰編『プログレッシブ中国語辞典』（小学館）								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
木－Ⅱ：2E一 金－Ⅱ：2L4 金－Ⅲ：2E四	各課の「練習」は宿題としてやってくる。 宿題と定期試験の成績により総合的に評価する。							
授業計画								
第1回	第8課	助詞“了” 経験を表す“怕” 連動文						
第2回	第8課	介詞“跟／和” 動量詞 練習						
第3回	第9課	比較を表す構文 比較の程度を表す“…得多／一点儿”						
第4回	第9課	“听傍”の使い方 練習 会話						
第5回	第10課	助動詞 “有点儿” “一点儿”						
第6回	第10課	動詞の重ね型 練習 会話						
第7回	第11課	二重目的語 伝達内容を表す文 介詞“公／斤／向” 動詞句の連体修飾語						
第8回	第11課	介詞“从…到…”と“宣” “是…的”構文 練習						
第9回	第12課	“正在” “…着” 動詞＋“在” 行為の手段や状態						
第10回	第12課	形容詞による連体修飾 “一元…一元…” 練習 会話						
第11回	第13課	補語Ⅰ “越…越…” “因…所以…”						
第12回	第13課	練習 会話						
第13回	第14課	補語Ⅱ 逆接の言い方 “状得”などの動詞						
第14回	第14課	“把”構文 練習 会話						
第15回	試験							